

6月頃から業者による現地測量の案内や、公共ます設置申請書の案内等の回覧を三谷・豊岡・竹谷町区で行っている。

その他の質問
外国人人口増加への対応

松本昌成（公明党市議員）

障害のある児童・生徒の就学について

問 本市の現状、就学の支援について伺う。

答 障害により特別な支援が必要な児童・生徒は、10年間で学級数が倍増、在籍数は3倍弱の増加である。就学支援については本人・保護者の意向を尊重しながら、丁寧に行っている。

ごみ屋敷について

問 ごみ屋敷条例施行後の対応は。

答 生活上の課題解決のため、関係機関と連携し、原因者個人への支援が可能



となった。現在、ごみ屋敷の判定基準を作成中で、今後は基準を活用し、継続対応中のごみ屋敷の状況を分析して有識者等からなる審議会に意見を求めている。

鈴木基夫（自由クラブ）

子ども・若者支援に
ワンストップ窓口を

問 現在の子ども・若者相談窓口の人員体制や相談場所が適切であるか検討をお願いしたいが、やはり支援の際に、相談者の年齢や相談内容により相談窓口が変わるのではなく、市役所内で連携して、ワンストップ窓口を設置する必要がありと考える。ワンストップ窓口に対する考えは。

18歳以下の相談は、子ども・若者相談窓口と平成31年度に設置予定の子育て世代包括支援センターとの連携により、どちらの施設でもできるようになる。また、豊橋市では、この2施設を統合し、ワンストップ窓口を設置している。今後、同市を参考に教育委員会と協議を行い、本市に合ったワンストップ窓口にしていきたい。

青山義明（自民党市議員）

落合川の適正な管理を

問 市の管理区間での落合川のしゅんせつ工事の



落合川

実施状況は。

答 ここ数年は行っていないが、堆積土砂を調査し、必要に応じて、しゅんせつを行いたい。

交通指導員について

問 蒲郡西部小学校区への交通指導員の配置の要望があるが、その可能性は。

答 保護者や教職員の皆さんに児童への交通安全指導を積極的にしていただき、ありがたく思っている。国道23号蒲郡バイパス開通等で交通量が増え、子どもたちの安全確保の必要性を感じている。地域と連携を図り、安全確保について考えていきたい。

日恵野佳代（無党派・日本共産党）

国民健康保険税の負担軽減を

問 国、県、市が支援を増やせば国保税の負担は減る。市の考えは。

答 市としては、従来の財政支援の継続に加え、



国庫負担割合の引き上げ等、実効性のある措置を国に要望している。

公共施設マネジメント
について

問 三谷中学校区の第2回ワークショップでは小

学校を統廃合すべきという意見はなかったが、市が示した公共施設の再配置案4案のうち3案に小学校統廃合があった。地元が公共施設は統廃合しないと云えば、市はその意見を聞くのか。ワークショップでの意見を尊重し、市が最終的に地区個別計画を定める。